

2022 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 看護学科 | | 科 目 区 分 | 専門分野 | 授業の方法 | 講義演習 |
|---|---------|-----------------|--|--------------|-----------------------------------|---------------|
| 科 目 名 | 精神援助論Ⅱ | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 30 (1) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 2年次 | | 学期及び曜時限 | 後期 | 教室名 | 各教室 |
| 担 当 教 員 | 中山まゆみ 他 | 実務経験と その関連資格 | 島根県立こころの医療センターで看護師として勤務 | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | |
| 精神医療における入院環境と治療的アプローチについて患者の自立・回復を促すための支援方法を学ぶ。実習の基本的な考え方を理解し、対象への効果的なアプローチの方法を学ぶ。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | |
| 授業の学習態度や課題提出状況(10%)、筆記試験(90%)で総合的に評価する。 | | | | | | |
| <p>専門分野Ⅱ 精神看護の基礎 精神看護学① 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の展開 精神看護学② 医学書院 系統看護学講座 学生のための精神看護学 医学書院</p> | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | |
| 授業終了後復習をきちんとしておくこと。授業で学習した内容の理解の促進と知識の定着のために主体的に国家試験の問題に取り組んでおくこと。 | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | |
| 精神援助論Ⅱの講義の内容は精神看護学実習においても看護師国家試験についても非常に重要な内容となります。真剣に学習してください。 | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第1回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 精神障害者にとっての回復の意味を説明できる | 教科書 AV機器他 | 授業で学んだ内容を復習し、予定の範囲の教科書を事前に読んでおくこと | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 患者にとっての回復の意味 | | | |
| 第2回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 患者にとっての入院のメリットとデメリットをあげることができる | 教科書 AV機器他 | 授業で学んだ内容を復習し、予定の範囲の教科書を事前に読んでおくこと | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 入院の治療の目的と意味 | | | |
| 第3回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 入院時のアセスメントのポイントをあげることができる | 教科書 AV機器他 | 授業で学んだ内容を復習し、予定の範囲の教科書を事前に読んでおくこと | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 入院時のアセスメント | | | |
| 第4回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 治療環境について説明することができる | 教科書 AV機器他 | 授業で学んだ内容を復習し、予定の範囲の教科書を事前に読んでおくこと | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 治療的環境 | | | |
| 第5回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 患者の回復を促す治療環境をつくりだすために看護師に求められることを説明できる | 教科書 AV機器他 | 授業で学んだ内容を復習し、予定の範囲の教科書を事前に読んでおくこと | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 治療的環境と看護師 | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|--------|-------------|---|--------------|-----------------------------------|
| 第6回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 精神科における安全の考え方を説明することができる | 教科書 AV機器他 | 授業で学んだ内容を復習し、予定の範囲の教科書を事前に読んでおくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 患者の安全を守るリスクマネジメント | | |
| 第7回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 緊急事態にどのように対処するかを予防に重点をおいて説明することができる | 教科書 AV機器他 | 授業で学んだ内容を復習し、予定の範囲の教科書を事前に読んでおくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 緊急事態に対処する | | |
| 第8回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 患者の暴力を予防するために患者との関わりの中でできをつけておかなければならないことをあげることができる | 教科書 AV機器他 | 授業で学んだ内容を復習し、予定の範囲の教科書を事前に読んでおくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 暴力と無断離院 | | |
| 第9回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 精神科病院において災害の危険から患者を守るための対策をあげることができる | 教科書 AV機器他 | 授業で学んだ内容を復習し、予定の範囲の教科書を事前に読んでおくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 災害時ケア | | |
| 第10回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 精神科看護におけるの身体的ケアのポイントをあげることができる | 教科書 AV機器他 | 授業で学んだ内容を復習し、予定の範囲の教科書を事前に読んでおくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 身体をケアする | | |
| 第11回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 電気けいれん治療の看護についてのポイントをあげることができる | 教科書 AV機器他 | 授業で学んだ内容を復習し、予定の範囲の教科書を事前に読んでおくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 電気けいれん治療の看護 | | |
| 第12回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 精神科に多い身体合併症を説明することができる | 教科書 AV機器他 | 授業で学んだ内容を復習し、講義終了時に示す課題を実施すること |
| | | 各コマにおける授業予定 | 日常から気をつけておきたい身体合併症 | | |
| 第13回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 身体合併症の看護について説明することができる | 教科書 AV機器他 | 授業で学んだ内容を復習し、講義終了時に示す課題を実施すること |
| | | 各コマにおける授業予定 | 精神科における身体ケアの実際、睡眠への援助 | | |
| 第14回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | エンパワメントとつながりの回復を目標とした援助についてポイントをあげることができる | 教科書 AV機器他 | 授業で学んだ内容を復習し、予定の範囲の教科書を事前に読んでおくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 心的外傷をもつ患者の看護 | | |
| 第15回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 精神援助論Ⅱの講義を終えての学びを話すことができる | 教科書 AV機器他 | 授業で学んだ内容を復習し、予定の範囲の教科書を事前に読んでおくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | グループワーク | | |